

メディパルグループのありたい姿

# 「医療と健康、美」を 広げ、支え、つなぐ 健康応援オーケストラ

グループに集う従業員一人ひとりの個性を  
活かした絶妙なハーモニーにより  
さまざまな可能性を追求し、  
「医療と健康、美」という広い事業フィールドで  
社会価値、顧客価値を創造します

人との繋がりを  
大切に、  
当たり前前の生活を  
もっと豊かにしたい。

化粧品・日用品、  
一般用医薬品卸売事業  
営業担当



変革し続ける事で  
新たな地域貢献に  
挑戦します。

医療用医薬品等卸売事業  
営業担当



どんな時でも  
必要な方へ届くような  
止まらない物流に  
貢献します。

医療用医薬品等卸売事業  
物流担当



産業動物の  
病気の予防・治療に寄与し、  
食の安全・安心に  
貢献する。



動物用医薬品等卸売事業  
専門領域担当  
テクニカルサポート

女性ならではの  
観点を活かし  
社会にも会社にも  
貢献したい。

医療用医薬品等卸売事業  
営業担当  
ウィメンズコーディネーター



希少疾患で  
苦しんでいる世界中の  
患者さんとその家族に  
治療薬をお届けする

医療用医薬品等卸売事業  
海外事業担当



食を支える  
メーカー卸へ。  
食品事業の  
新たな挑戦。

食品加工原材料卸売等関連事業  
R&D事業担当



経営理念に基づいた「ありたい姿」として  
『医療と健康、美』を広げ、支え、つなぐ健康応援オーケストラ」を  
掲げています。





## 経営理念

流通価値の創造を通じて  
人々の健康と社会の発展に貢献します。

## 経営方針

- |                                    |                                      |   |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1.<br>社会から信頼される<br>活力ある<br>企業文化の創造 | 2.<br>株主価値を<br>高める経営と<br>コンプライアンスの徹底 | 3.<br>誠実で自由闊達な<br>社風の醸成と<br>創造性に富む人材の育成 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|

## 企業活動指針

遵法精神に則り、正しい競争をすることは、  
全従業員の質的水準を上げ、企業に変革を起こし、  
お客様の喜びにつながり、さらなる企業価値向上となる。

## 事業フィールド

医療と健康、美

### メディバルロゴマークについて

手をつなぐ人々と、調和をイメージしたデザインで、「協調・共生」と「生きるための力強さ」を表現するとともに、お客様やお取引先と手を携えて成長する企業、多様な方向へ発展していく企業、人間尊重の姿勢を持った企業であることを表現しています。

# Contents

イントロダクション	メディバルグループのありたい姿 At a Glance 社長メッセージ	2 5 6
価値創造の仕組み	価値創造のあゆみ 価値創造プロセス 価値創造の源泉 サプライチェーンの全体最適を実現する物流機能 持続可能な人的資本経営の実現 ニーズに応え市場を創造する新規事業 さまざまな分野のパートナーとの価値共創 事業開発本部長メッセージ 資本政策・株主還元	12 13 14 17 19 21 22 24
戦略とマネジメント	2027メディバル中期ビジョン サステナビリティ担当取締役メッセージ サステナビリティマネジメント	25 29 30
事業活動を支える基盤	環境保全 TCFD提言に基づく情報開示 人材マネジメント 社会貢献活動 役員一覧 コーポレート・ガバナンス 社外取締役座談会 コンプライアンス 品質管理 リスク管理 BCP(事業継続計画) 情報管理	33 36 38 44 45 46 54 57 60 62 63 64
事業概況	事業ポートフォリオ 事業別戦略 医療用医薬品等卸売事業 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業 動物用医薬品等卸売事業 食品加工原材料卸売等関連事業	65 66 68 70 71
データセクション	用語集 SASB参照表 11年間の主要財務データ 財務ハイライト 会社情報	72 73 74 75 76

### 編集方針

すべてのステークホルダーの皆様へ、メディバルグループの考える持続的な企業価値創造に向けた経営の在り方をご理解いただくため、経営戦略や業績などの財務情報と、環境への取組みや社会への貢献などの非財務情報を一体的に伝えるコミュニケーションツールとして、本統合報告書を編集しています。

### 参照しているフレームワーク

本統合報告書の編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参照しています。

### 見直しに関する注意事項

本統合報告書には、メディバルグループの計画、方針、戦略、将来の業績に関する見通しが記載されていますが、リスクや不確実な要因により、実際の業績が記載されている予測と異なりうることをご承知おきください。

# At a Glance

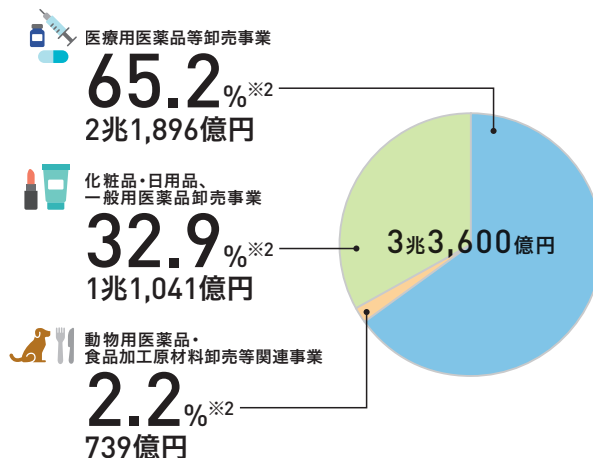
(2023年3月末現在)

≫ 連結売上高 ※1  
**3兆3,600**億円

≫ 連結経常利益 ※1  
**651**億円

≫ ROE ※1  
**7.1**%

## ≫ 連結売上高構成比 ※1



≫ 連結子会社数  
**16**社

≫ 連結従業員数  
**12,795**名

≫ 時価総額  
**4,067**億円

医療用医薬品等  
卸売事業

≫ 拠点数  
全国 **224**拠点

≫ お得意様  
約 **23**万軒

≫ AR\*  
約 **2,500**名

化粧品・日用品、一般用医薬品  
卸売事業

≫ 物流センター  
全国 **16**か所

≫ お取引先様  
小売業様 約 **400**社  
メーカー様 約 **1,000**社

≫ 取扱数  
総出荷数 年間 **35**億個

動物用医薬品・食品加工原材料  
卸売等関連事業

≫ 拠点数 (動物用医薬品卸売事業)  
営業拠点 全国 **32**か所  
物流拠点 全国 **5**か所

≫ メーカー数 (食品加工原材料卸売等関連事業)  
約 **800**社

≫ 取扱数 (食品加工原材料卸売等関連事業)  
約 **14,000**品目

※1 2023年3月期 ※2 セグメント間取引消去等を除いて算出しているため、合計は100%になりません。 \* 用語説明は、P.72の用語集をご参照ください。

## 社長メッセージ

だれもが心身ともに健やかに暮らせる社会の実現と  
企業価値の向上をめざし、  
新たな発想で挑戦していきます。

メディパルグループは、「流通価値の創造を通じて人々の健康と社会の発展に貢献します。」の経営理念に基づき事業活動を行っています。

1898年(明治31年)、神戸で創業。その後、大正、昭和、平成、令和へと時代が変わり、世の中や生活様式が大きく様変わりする中において、志を同じくする企業とのM&Aによる事業領域の拡大、日本全国への流通ネットワークの構築、サプライチェーンの全体最適化など、常に先駆的な取り組みを行ってきました。必要とされる商品を実確にお届けするという基本姿勢は125年を経た今でも不変です。

「人々の健やかな暮らしとは何か?」「そのために、私たちにできることは何か?」を問いかけ、さまざまな可能性を追求して、いかなる環境変化に直面しても人々の健康と社会の発展に貢献するという意志を持って事業を展開しています。

株式会社メディパルホールディングス  
代表取締役社長 渡辺 秀一



## 社長メッセージ

ライフラインを支え、  
流通価値を創造する

現在、当社グループは、「医療用医薬品等卸売事業」「化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業」「動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業」を展開しています。

医薬品、医療機器、臨床検査試薬、日用品、化粧品、食品加工原材料など、私たちの取り扱う商品は、いずれも人々の生命や健やかな暮らしを支えるために欠かせないものばかりです。それゆえ、平時のみならず、たとえ有事が起きても、止まることなくお届けできる物流機能と流通ネットワークの構築は、社会インフラを担うものとして大事な取り組みであると認識しています。

この思いの根底には、1995年の阪神・淡路大震災の経験があります。被災エリアの真ただ中で従業員を守りながら、命を支える商品の供給を継続することがいかに尊いかを痛感しました。この経験を未来に活かすためにめざしてきたのが、医療用医薬品等卸売事業における全国物流構想です。

この国には、どんな時でも安定供給を可能とする強靱な物流機能と日本全国をカバーできる流通体制が必要であると考えました。2000年の医療用医薬品卸3社の合併以降、医薬品卸としての全国展開を実現した後、この構想を着実に進めてきました。2023年9月に13か所目となる「阪神 ALC\*」(兵庫県西宮市)の竣工により、全国均質な物流サービス網が完成します。

有事を想定したり、時代の先を見据えたさまざまな準備は過剰な投資なのではないという意見もありましたが、大事なものは普段は目に見えず、必要になって初めて気づくものです。これからも、社会に対して、安全・安心で安定した価値ある流通を提供する卸として、私たちは変革を続けていきます。

この国で、  
薬を届けるという使命。

メディパルは、医薬品、日用品などを取り扱う流通グループ。

製薬会社と皆さんの町の医療機関、調剤薬局、ドラッグストアなど全国24万軒をつないでいます。

私たちのモットーは、必要なものを、必要な時に、必要な量だけ確実に運び届けること。

それは、災害時ならなおさらです。

私たちは、阪神・淡路大震災での被災経験から、災害時にも負けない流通を目指して、

様々な取り組みを重ねてきました。

東日本大震災や熊本地震などで、大きな困難の中、被災地に必要なものを送ることができたのも、

皆様の働きがあればこそでした。

災害とは切り離せないこの国だからこそ、あらゆるシナリオに対し、万全の準備をしておく。

私たちにとって、薬を届けるということは、ライフラインを担うことなのです。

毎日の暮らしが、何かあった「その時」にも途切れることのないよう。

私たちの目に見えない挑戦は続きます。



【自費での配送サービスの提供】  
自費での配送サービスを提供し、  
お客様のニーズに応じたサービス  
を提供しています。



【ネット・コンビニへの二重化】  
自費によるネット・コンビニへの二重化  
を実現し、お客様のニーズに応じた  
サービスを提供しています。



【非常時対応体制の構築】  
非常時の対応体制を構築し、  
お客様のニーズに応じたサービス  
を提供しています。



【全国均質な物流サービスの提供】  
全国均質な物流サービスを提供し、  
お客様のニーズに応じたサービス  
を提供しています。



【物流の効率化・高度化】  
物流の効率化・高度化を実現し、  
お客様のニーズに応じたサービス  
を提供しています。

詳細は、ウェブサイトをご参照ください。  
[https://www.medipal.co.jp/brand/story\\_01/](https://www.medipal.co.jp/brand/story_01/)

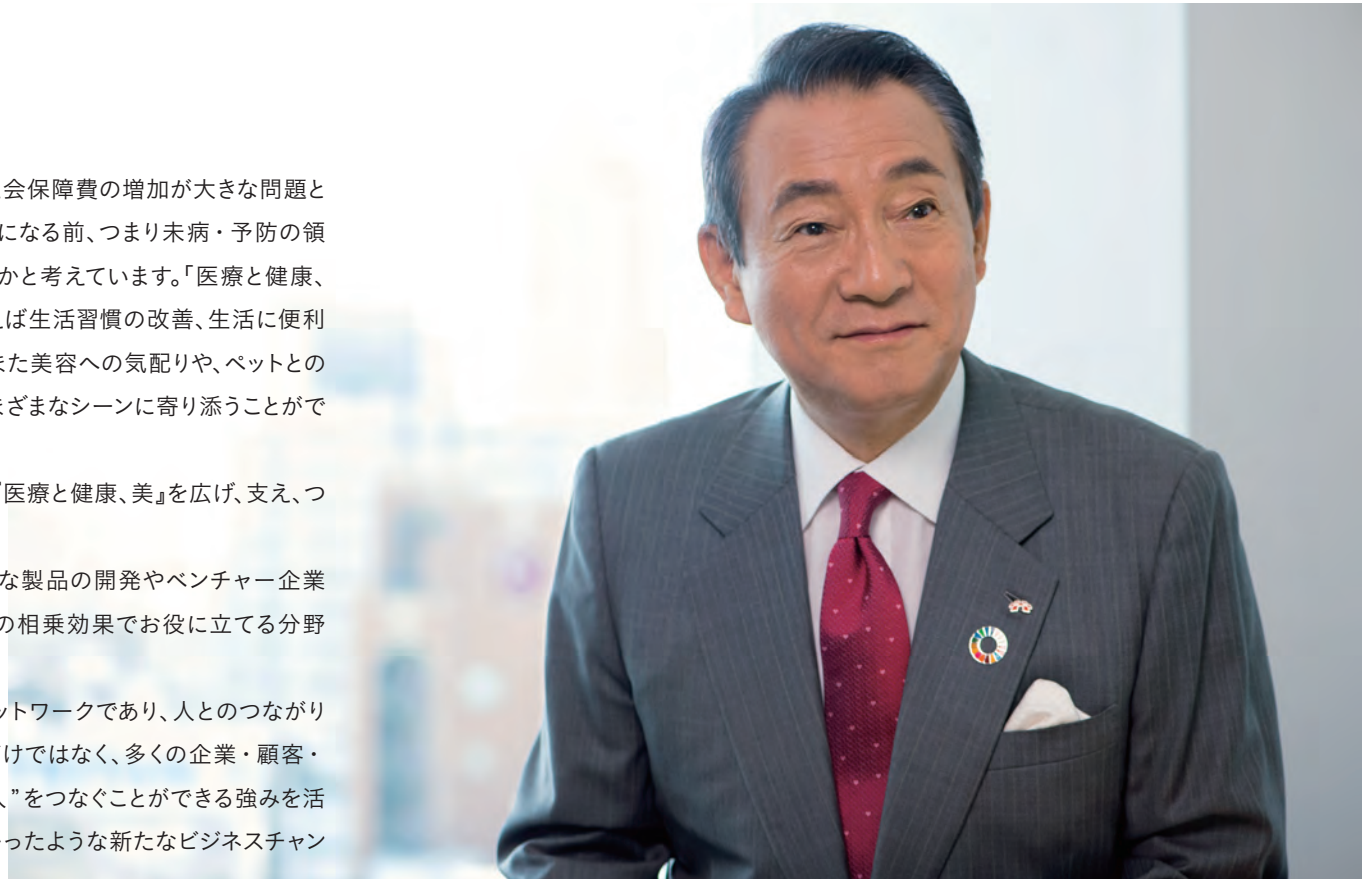
## 医療と健康、美

日本は世界に誇れる長寿国です。その一方で、社会保障費の増加が大きな問題となっています。この相反する課題を見据えて、病気になる前、つまり未病・予防の領域で、私たちの存在や機能が活かせるのではないかと考えています。「医療と健康、美」という広い事業フィールドに目を向ければ、例えば生活習慣の改善、生活に便利や快適を与える日用品、体に良くておいしい食事、また美容への気配りや、ペットとの暮らしなど、人々が心身ともに健やかに暮らせるさまざまなシーンに寄り添うことができます。

そのような思いを描き、私たちのありたい姿を、『『医療と健康、美』を上げ、支え、つなぐ健康応援オーケストラ』と表現しています。

従来の卸売事業の枠組みにとらわれず、革新的な製品の開発やベンチャー企業への支援などを積極的に行い、私たちとの事業との相乗効果でお役に立てる分野の拡大に努めています。

メディパルの強みの一つは、強固で広範囲なネットワークであり、人とのつながりです。これは、モノを効率的に流通させる物流面だけではなく、多くの企業・顧客・自治体などをつなぐ役割も果たしています。“人と人”をつなぐことができる強みを活かすことで、新たなニーズを掘り起こし、今までなかったような新たなビジネスチャンスが生まれると考えています。



## 2027メディパル中期ビジョン

社会環境や顧客ニーズの変化に伴い、企業グループとして収益性や成長性を高めていくためには、事業の幅を大きく広げていく成長戦略が必要だと考えています。現在、メディパルでは、「2027メディパル中期ビジョン Change the 卸 Forever ～たゆまぬ変革を～」に沿った取組みを進めています。本ビジョンは、メディパルの描く「ありたい姿」を実現する道筋として位置づけていますので、数値的な目標の達成だけでなく、変革を進めてグループを進化させていくことが重要だと考えています。

あわせて地球規模の喫緊の課題である環境問題への取組みにも力を入れています。物流面においては、環境負荷の低減を伴う効率化を推進する一方で、遺伝子治療や再生医療をはじめとする革新的な医薬品の温度や振動などを厳格に管理できる高度な物流機能の強化にも力を入れています。

本ビジョンでは、人材戦略と財務戦略をベースにして、5つの成長戦略を掲げたくうえで、事業ポートフォリオのシフトとパートナーとの協働により、社会価値・顧客価値を創造し、グループの持続的成長をめざしています。

本ビジョン1年目は、JCRファーマ(株)との超希少疾病4疾患に対するグローバル事業化の合意、(株)メディスケットの設立、MP五協フード&ケミカル(株)、東七(株)のグループインなど、メディパルグループの未来を切り拓いていくうえで重要な布石を打ちましたので、まずは順調にスタートすることができたと思っています。

## 変革を実現する人材戦略

だれもが心身ともに健やかに暮らせる社会の実現と企業価値の向上をめざすには、多様な知識や経験、価値観を持つ従業員が、それぞれの個性や能力を磨き、調和させていくことが必要だと考えています。それぞれの個性が重なりあうことで新しい価値を生み出す、まさにグループ全体がオーケストラのような姿でありたいと思っています。

メディパルの成長を支えるのは、人材です。メディパルでは未来を担う人材像を「未来志向型人材」と定義し、そのような人材を育成していくための投資を積極的に行い、「創造性豊かな企業文化の醸成」および「多様な人材活躍」を促す施策を実践していきます。

私は、メディパルの従業員は経営理念に共感して集い合った縁ある仲間だと思っています。全員が生き生きと働き、世の中のお役に立ち、プライベートも充実した生活を送ってほしいと心から願っています。そのためにも、働きやすい環境づくりや健康管理のサポート、福利厚生の実施などには力を注いでいきます。

従業員の成長が会社の成長につながり、会社が成長していくことで、新しいビジネスへの挑戦の機会が生まれ、それによって従業員がまた成長していく。このような成長戦略と連動した人材戦略を推進しています。



## 資本政策に関する基本方針

2023年5月に「資本収益性の向上」と「資本コストの低減」を両輪とした事業・財務活動を通じて、企業としての持続的成長と企業価値最大化に努めることを資本政策の基本方針としました。

また、この方針に則り、「政策投資株式に関する基本方針」と「利益配分に関する基本方針」の策定も行いました。政策投資株式については、株式保有リスクの抑制や資本効率性の観点から、その残高を削減することとし、現在進行中の中期ビジョンの最終年度となる2027年3月末をめどに、保有残高を純資産の10%以下、かつ、500億円以下まで削減する方針です。

利益配分については、原則として「本中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生するのれん償却費・無形資産償却費控除前の利益に対する配当性向を安定的に維持・向上させる」こととあわせ、資金需要を総合的に見極めながら、資本効率の向上と株主の皆様への一層の利益還元を目的とした「自己株式の取得・消却」を弾力的に実施する方針を決定しました。本ビジョン期間の5年間累計で掲げた成長投資に伴い発生するのれん償却費・無形資産償却費控除前の利益に対して株主総還元性向40%の実現を図ってまいります。

今回の資本政策は、IR活動で得た株主や投資家のご意見、社外取締役などの意見も参考にしながら、活発な議論をくり返したうえで策定しました。資本コストや資本収益性を意識した経営を実践していくとともに、開示のより一層の充実や、株主や投資家の皆様との対話を積極的に行っていきたいと考えています。

安全性と効率性を両立する健全な財務状況を模索していくことと同時に、積極的に機動的な成長投資などにより、将来の収益を最大化する取組みにも注力することで企業価値を向上させ、株主を含むステークホルダーの皆様への期待に応えることのできる企業として成長を継続していきます。

## サステナビリティ経営の推進

持続可能な社会の実現と、企業価値の向上の両立をめざすため、サステナビリティ方針「未来へつなごう『元気と、かがやき』」を策定しました。

この方針のもと、重要課題（マテリアリティ）の見直しを行い、6つの課題を特定しました。グループのCSR委員会が中核となり、社会課題の抽出、自社課題の洗い出し、あるべき姿の議論をし、検討してきたものを取締役会に諮り策定したものです。

企業は社会を構成する一員であり、よりよい社会の実現に対して貢献していく責務があると考えています。メディパルの事業は、それ自体が社会的な意義の大きいものであると自負していますので、地球環境や人権に対しても高い意識を持った人材、会社に育てていきたいと思えます。

また、健全で透明性の高い企業経営のため、グループコンプライアンスの強化とガバナンス体制の構築にも力を注いでいきます。グループ全体での教育をさらに充実させるとともに、取締役会においても、コンプライアンスの遵守状況をモニタリングする仕組みを構築し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図っていきます。

## 「ありがたい姿」の実現に向かい、 たゆまぬ変革を進める

「夢みて行い、考えて祈る」

これは、臨床免疫学者で大阪大学の総長も務められた山村雄一さんの言葉です。

何事も、夢を見ることから始まります。そしてまず行動を起こすこと。行動を起こした後には、その結果や浮かび上がった課題をしっかりと検討し、改善策を講じ、やることをやり切る。自分たちの信念を持ち、貫くということが先行きの見えない今の時代には必要ではないかと思えます。

メディパルの事業フィールドである「医療と健康、美」は、とても幅広く、成長性に富んだ恵まれたものです。そして、人々の心身ともに健やかな暮らしに貢献することのできるやりがいのある仕事がたくさんあります。ステークホルダーの皆様のご期待に沿い、ともに明るい未来を切り拓いていくために、メディパルはたゆまぬ変革を進めていきます。